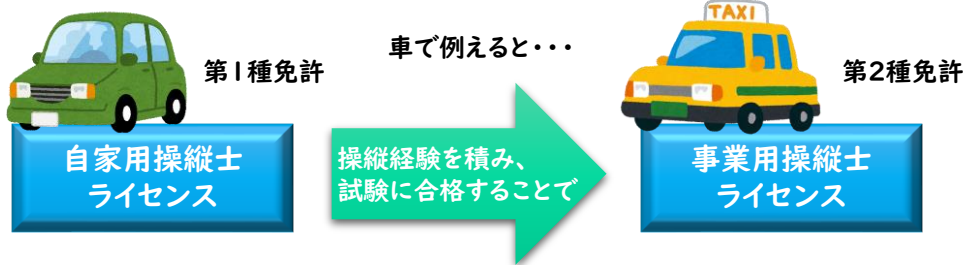


T.I.P.
Takumi Institute Of Pilot

ヘリコプター操縦免許の種類

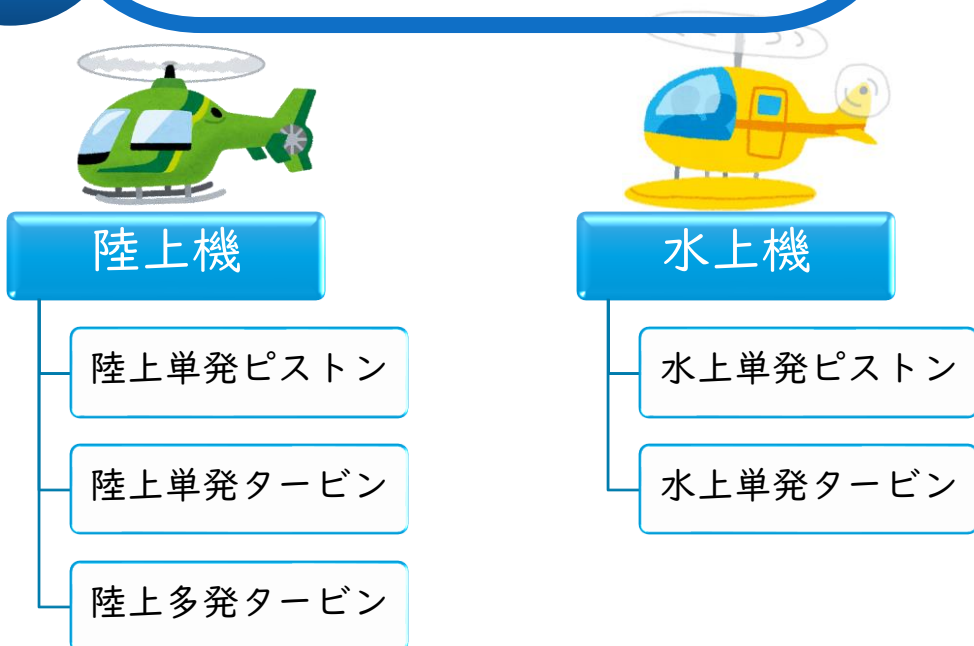
1

自家用操縦士と事業用操縦士



2

機体の種類の限定ライセンス



1. 操縦する機体のエンジンの種類によって、「ピストン機」と「タービンエンジン機」の2種類があります。
2. エンジンが1つのみの「単発機」と、2つ以上ある「多発機」ある機体で免許が異なります。
3. 陸上でのみ離着陸を行う「陸上機」と水上に離着水できる「水上機」でも免許が分かれています。
航空機においては装備されている計器やエンジンスタート方法、離着陸方法など、大きく異なる点があるため、それぞれ別の免許が必要となっています。

ライセンス取得要件

総飛行時間**40時間**以上で以下のフライトを含む

単独飛行時間	10時間 以上
野外飛行時間	5時間 以上※1
同乗教育飛行	20時間 以上※2

※1 (180km以上の距離、途中で2回以上の着陸単独操縦の野外飛行を最低1回)

※2 (夜間の離着陸、野外飛行の時間を含む)



飛行時間
40時間以上



無線
ライセンス



学科試験
合格

T.I.Pでは最短でのライセンス取得を目指します

最短5カ月で **合格**

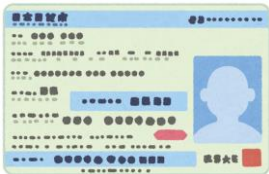
訓練飛行までの流れ

航空身体検査



パイロット向けの特種な検査になり、眼科・視力、血液、尿、聴力、心電図など、様々な検査を行います。
第1種(事業用操縦士以上)と第2種(自家用操縦士)の基準があり、操縦練習許可証を申請するには最低でも第2種の基準を満たす必要があります。

操縦練習許可書



航空身体検査の受検後は、管轄の空港事務所へ「操縦練習許可書」の申請を行います。
申請から発行までは通常10日程度の日数がかかります。

無線資格と学科試験



① 航空無線免許を取得
航空機は地上との連絡に航空無線機を使います。その為、この無線免許がないと航空管制官や他の無線局との通信ができません。
単独飛行に出るまでに「航空特殊無線技士」または「航空無線通信士」を取得しておく必要があります。

【試験】

航空特殊無線技士 : 2月・6月・10月
航空無線通信士 : 2月・8月

② 学科試験に合格(航空従事者学科試験)
実地試験の申請を行うまでに学科の全5科目(工学・気象・法規・通信・航法)に合格する必要があります。

学科試験の合格は2年間有効ですので、早めに受験をして合格するようにしましょう。(試験は3月・7月・11月)

自家用操縦士ライセンス取得費用

ロビンソン式R44型を使い操縦訓練を行います。

合計 **5,621,000**円(税込)

実機訓練 4,410,000円

飛行訓練機R44利用料¥98,000/1時間
取得要件40時間+慣熟飛行5時間

R44利用料 1時間98,000円の内訳
機体利用料 : 35,000円
機体整備費 : 5,000円
機体保険料 : 4,000円
航空燃料費 : 29,000円
教官費用 : 10,000円
OHリザーブ : 15,000円

座学授業 60万円(基礎座学60時間分)

訓練に必要な教材費用を含みます。

ブリーフィング費用(口述対策費用) 10万円(10時間分)

実地試験前の口述対策費用になります。

フライトシミュレーター 無料

5時間まで無料・その後5000円/45分

T.I.P.での訓練メリット

Work

事業用ライセンス取得まで、全ての訓練を国内で実施できるため、お仕事や学校を辞めたり、長期で休んだりする必要がありません。

Stay

遠方の方や短期間にまとめて訓練をしたい方向けに、格安【2,000円(税込)/1日】な寮もございます。近郊の方は宿泊・滞在費が不要でお得。意外と安く国内での訓練が実施できます。

Learn

航空事業認可を持つヘリコプターの運航会社で訓練を行います。航空会社の実際の運航を間近に学ぶことができ、実践力やモチベーション向上にもなります。

事業用取得・限定変更

事業用操縦士ライセンス取得要件：最低150時間の飛行経験が必要になります。

タービン機の限定変更は10～15時間で受験可能です。(個人の技量・飛行経験によって変動します。)

機体利用料

R22

44,000円/1時間

R44

88,000円/1時間

R66

110,000円/1時間

教官費用 11,000円/1時間 (教育操縦証明を所持者が同乗し、訓練します)

機長費用 5,500円/1時間 (操縦士資格を所持者がアドバイスをを行います)

※教官を指名される場合は、追加で5,500円/1時間の料金が発生します。

T.I.P.卒業後の進路

社員雇用制度

事業用操縦士までのライセンス取得者は、優先的に社員雇用制度を設けております。

航空会社の採用基準は、「飛行時間」や「飛行経験」が大きく影響します。雇用後の社員育成訓練にかかる費用の問題があり、若年の未経験者よりも、中年の業務経験者が採用されることが多いのが航空業界の現状です。

一般的な募集も、**500時間以上の飛行時間**を求めている事業者がほとんどです。

このような事情を鑑み、弊社では事業用ライセンス取得者全員に社員雇用制度を設けています。

操縦士を目指す全ての人に可能な限りのチャンスを提供し、豊富な経験をしてもらい、今後の航空業界を担っていく人材を育成するのが弊社の目的であり、使命でもあります。

あなたからのお問合せをお待ちしております。

特別訓練コース

操縦士を目指したいけど費用がどうしても捻出できない方へ向けた「特別訓練コース」もございます。
※諸条件等ありますので、京都での面談が必要となります。詳細は電話にてお問合せください。
※こちらのコースは、弊社自家用操縦士課程卒業者が対象となります。

操縦体験

操縦士免許取得に興味がある。ヘリコプターを操縦してみたい。そのような方は、まずは操縦体験から。空のお勉強、シミュレーターでの操縦訓練から、丁寧に指導いたします。初めての方でも操縦教官が同乗しますのでご安心ください。

操縦体験特別価格

合計 **66,000**円(税込)

ヘリコプターの操縦練習は車の教習所のようにすぐにハンドルを握ることができません。練習でも操縦桿を触るには、**操縦練習許可書**が必要です。

航空身体検査受検

身体検査予約時に「操縦練習許可書希望」と病院にお伝えください。
※航空身体検査費用につきましては、お客様ご自身のご負担となります。



操縦練習許可書申請

お住まいの管轄の空港事務所に申請します。

申請から10日程度で許可証がお手元に届きます。この間に体験フライトの申し込みをしましょう。



操縦体験の簡単な内容

ヘリコプターとは?簡単に空のお勉強をします	約30分
ヘリコプター実機に乗っての操縦体験	約30分

操縦体験でもあなたにパイロットとしての飛行時間がつきます。操縦士として大事なフライトですので、集中して頑張ってください。



卒業生の声

Hさん 自家用取得

私は幼少期にヘリコプターの遊覧飛行に搭乗した事をきっかけにパイロットになりたいという思いがありました。しかし自分には無理だろうと思い自動車関係の職に従事しましたが、20代後半になりチャレンジしなかった後悔が募り30歳で退職しパイロットを目指すことを決意しました。

訓練期間中うまくいかないことがたくさんありました。フライトでは頭では分かっているつもりでも体が反応しませんでした。そこでイメージトレーニングなど地上で出来ることの大切さ、一回のフライトでどれだけ多くの事を学べるかが重要という事を教官に教えて頂きました。

寮では同じ訓練生と問題を出し合い、時には夢を語り合ったことは良い思い出です。

又、プロパイロットになったら実際にどのような業務をするのかを間近で見ることができ、資格取得以上の事を学べることはこの上ない環境だと感じました。

私は今後事業用操縦士の資格を取得し幼少期に感じた感動を多くの方にしていだけるようなパイロットになりたいと思っています。

卒業生の声

Iさん 事業用取得

パイロットを目指した理由は「かっこよく、一生誇りを持てる仕事がしたい」からです。普段は空港の地上職員として働いていることもあり、憧れもありました。

基本的には、訓練期間中は苦しかったです。私は匠航空さんを含め、3つのフライトスクールにて訓練を実施しました。

初めて訓練生として空を飛んだのは約6年前に遡ります。関東のフライトスクールにて訓練を開始したものの、なかなか上手いえず、訓練資金も底をつき、しばらく訓練から離れることとなりました。

時を経て関東内の別のフライトスクールにて訓練を再開しましたが、そちらに於いても思うような結果がでませんでした。

そして昨年、匠航空さんと出会い、自家用操縦士及び事業用操縦士の実地試験に合格することができました。

匠航空さんの今までにない低価格な訓練費用と優れた訓練環境により、結果を出すことができました。

当初より事業用操縦士を目指していたこともあり、操縦練習許可証にて訓練していた段階からレベルの高い指導を受けることができたことも結果に繋がったのだと感じています。

今後は、お世話になった人達（家族、会社の仲間など）を乗せてフライトしてみたいです。

また、東京が大好きなので、東京を遊覧飛行することができるパイロットになりたいと思います。

卒業生の声

Aさん 自家用取得

パイロットを目指したきっかけは、“パイロットが少なく山で遭難をした人を助けるヘリが飛ばない”と聞いたことです。人を助けられることが出来るならしてみたいと。

訓練を始めたのが40代、機械は苦手、ヘリコプターの業界の事は全く知らない状況からでした。

機内に入れば色々なスイッチがあり恐々触り、上空に上がれば風に揺れる機体にビックリする、最初はそんな状態でした。

ヘリコプターについて知識が全く無い女性生徒を教えるのは大変だったと思いますが、飛行訓練、口述対策共に生徒に寄り添い分かるまで丁寧に何度も教えて頂きましたし、諦めずに最後まで指導をしてくれた教官のお陰で無事に試験を合格することが出来ました。

なんとかしてあげたい、という教官の気持ちが私を最後まで導いてくれた事に感謝しています。

今回は自家用操縦士の試験でしたが、今後は事業用操縦士の試験に挑戦をします。

事業用操縦士の資格を取得したら、人の幸せをサポートできるようなパイロットになりたいと思っています。

匠航空さんには、沢山のサポートを頂けた事に感謝をしています。

卒業生の声

Hさん 自家用取得

私は前職で消防に勤めており、ドクターヘリや防災ヘリとの関わる機会が多くパイロットへの憧れを抱くようになりました。

様々なフライトスクールがある中で、匠航空さんを選んだのは費用の面が1番の決め手でした。パイロットを目指していく上で費用の面で諦める方は多くいると思いますが、匠航空さんは他社と比べてもかなり訓練費用が安いので、少しでも「やってみたい」と気持ちがある方は是非一度相談してみるのがいいと思います。

実際にヘリコプターに初めて乗った時は、「なんだこの乗り物は…」と思うくらい難しい印象でした。特に空中で静止するホバリングでは、最初は全く止まることができず悔しかったですが訓練を重ねていき、できた時には達成感がありました。(感覚的には自転車に乗れなかったのが乗れるようになる感覚)

訓練ではソロフライトに出る前の段階で中々上手くいかず悩んだり落ち込む時もありましたが、教官から「成長には波があるから今うまくいなくても今後急に伸びたりもする」と言っていたので、だいぶ気持ちが楽になりました。また、他の訓練生とは「今日はこの科目がうまくいったとか、ここを指摘された」などと話すことでお互いの成長に繋がりました。

今現在、免許取得を悩んでいる人は是非挑戦してみるのいいと思いますが、ただ通っていれば免許が取得できるものでもなく、自分で常に予習や復習をし、1番は「パイロットになりたい、空を飛ばしたい」という思いを強く持ち続けける事が重要だと思います。

匠航空さんでは経験豊富な教官や飛行場での訓練など環境は整っているため、後は自分の取組次第だと思います。

少しでもやってみたいと思った方は、是非一歩踏み出して自分の知らない世界を見てみましょう!!

お問い合わせ

ご不明な点がございましたら、下記連絡先まで
お気軽にお問い合わせください。



075-631-8211



license@aviation.co.jp

匠航空株式会社 訓練事業部

T.I.P.
Takumi Institute Of Pilot